

ドクモスカウト2011募集要項

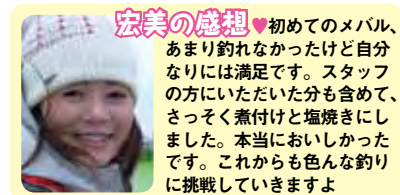
- **内容**：2011年度の「つり情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンの拡大と女性アングラー育成のお手伝いをさせていただきます。
- **応募条件**：自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限りです。
- **選考方法**：毎月1名、書類審査通過者に取材釣行していただき、つり情報発行人、ドクモスカウト事務局、カメラマン、船長の4人により基礎点を採点。12名の女性アングラーがそろったところで、最終審査として全員で仕立船釣行し、グランプリを選出します。
- **応募方法**：WEBからの応募は、つり情報 WEBサイトにある「ドクモスカウト2011」のページから。
ケータイからの応募はコチラ→
さらに詳しく…



▲八景沖の20～25メートルポイント



▲放流サイズは1尾も交じらなかった



宏美の感想 初めてのメバル、あまり釣れなかったけど自分なりに満足です。スタッフの方にいただいた分も含めて、さっそく煮付けと塩焼きにしました。本当においしかったです。これからも色んな釣りに挑戦していきますよ



おじいちゃんも釣りに来ちゃった



手袋をしていたらエサ付けが面倒なのに



ほかあし

▲両目が開いてホッと一息
▲弁天屋の新造船には温水循環パイプが設置されているので、冬でもぬくぬく

使いはじめた。井上さんに初めてのあたりがきたのもそんな時だった。軟調竿を気持ちよく曲げ、「メバルって結構引くんですね」と言いながら、18センチの標準サイズを取り込む。

船中ではアジ交じりでポツポツとメバルが取り込まれる。開幕以来最低の日と船長が言うだけあって、食いは終始ポツポツといった状態。納竿30分前に井上さんはもう1尾を釣って、結局この日は2尾で終了。15～25センチを竿頭で7尾、アジ多数交じるといふ今一つの釣果だった。低水温に澄み潮という悪条件ではやむを得ないところだろう。メバルは春の魚、これからの好転に期待したいところだ。港に戻ると、船長は午後船の出船準備。井上さんは午後にも乗船したが、あいにくスタツフに所用がありやむなく断念。釣り好きな一面を垣間見る一幕でした。

心が白く見える寒さの中、苦勞して釣った1尾目。うれしさが伝わってきます



初めてのメバルです。しかもおじいちゃんも釣りに来た



▲長竿の取り扱いには少しばかり苦勞していた



開始直後は芳しくなかったが、徐々に気温が上がりはじめたのか、ようやくメバルが口を

東京湾内では2月1日にメバル釣りが開幕したばかり。メバルは釣り方自体、それほど難しくないので初心者にも気軽にチャレンジできる。今回登場していただく井上宏美さんは船釣り初心者、もちろんメバルも未経験という方。まさにうってつけの釣り物だろう。

この日は早朝からみぞれ交じりの空模様、北風が冷たく頼を刺す寒い日。それでも総勢6人の釣り客は寒さなんのそのの重裝備で船に乗り込んだ。7時15分に出船し、まずは航程20分の25メートルダチから釣り始める。井上さんのエビエサの付け方は、出船前に船長からレクチャーされたとおり、まずは合格点だ。

開始から15分ほどして船中第1号の20センチ級が上がるが、後が続かない。10度台と急激に下がった水温が原因のようだ。30分ほど粘ったものの、船中数尾の釣果に船長は「このポイントを決めて八景前の20メートルダチに移動する。」

女性読者モデルオーディション

ドクモスカウト DOKUMO 2011



参加者大募集

第1次審査 vol.7
東京湾金沢 八景沖のメバル
東京湾奥金沢八景 弁天屋

写真◎井坂英樹 文◎本誌編集部



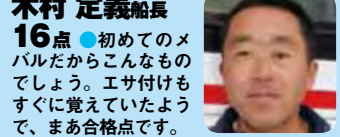
7th チャレンジヤー
♡井上 宏美さん
いのうえひろみ
プロフィール
●1985年生まれ25歳
●職業 家事手伝い
●趣味 食べ歩き、釣り



●とにかく魚を食べることが好きで、友人にすすめられるままに釣りに行くことになり、好きになりました。応募も友人のすすめです。

弁天屋船長の目 Captain

(テクニック中心に20点満点で採点)



木村 定義船長
16点 ●初めてのメバルだからこんなものでしょう。エサ付けもすぐに覚えていたようで、まあ合格点です。

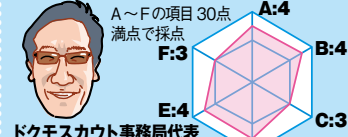
採点者の目 Marker

(20点満点で採点)

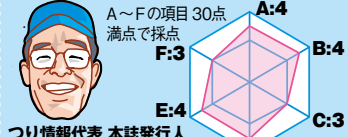


井坂 英樹
17点 (ビジュアル中心に20点満点で採点)
評価 ●ニット帽の似合う笑顔のかわいい女の子という印象。経験が少ないせいか釣りはちょっとごこちなかった。

A: 情熱度…釣りに対する情熱 B: 上達度…実際に体験した釣りのもの、取材当日の上達度
C: 知識度…釣りに関する経験、知識 D: センス…釣りのセンス E: お騒がせ度…船の中でムードメーカーであったか、元気だったか F: 釣果…船中の釣果に対して平均か否か



徳永 隆也 22点
評価 ●最近父親と一緒に釣りに行くという彼女、本当に釣りが好きそうです。釣果は今一つでしたが、色々な質問にもはきはきと答えて、私たちも元気をもらいました。



根岸 伸之 22点
評価 ●寒い日だったけど、一度も手を休めることなく釣り続けたのは評価に値する。あの寒い船上でも元気よく声を出していたのも好印象でした。もう一度、釣りをしたい気もしますが……。